

国語科年間指導計画 2 学年

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
1	教科ガイダンス 1時間 ・学習規律の確認 ・評価規準および判断基準の説明							・学習用具の確認 ・振り返りシート の書き方 ・ICT機器活用 ・春休み宿題提出
2	見えないだけ 1時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。	一詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。	観察 ノート ワークシート	
1 広がる学びへ 【全15時間】								
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
3	アイヌプラネット 4時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)エ)				【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	→登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。	観察 ノート ワークシート	→P25言葉 →二次元コード (イヌイット) →P24窓「登場人物の設定を捉える」 →P260頁「文学的な文章を読むために」
4	◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)	○	◎	○	【思・判・表】「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)	→「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。		
5	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)				【態】積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。			
6	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)							
7	[聞く] 問いを立てながら聞く 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度) ★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。	→提案された意見とそれを裏付けるための根拠を区別して捉えている。 →提案内容を理解し、その要点を的確にメモしている。 →意見と根拠の結び付きに注意して聞き、疑問点や確認したい点を明確にしている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード
8	枕草子 [書く] 自分流「枕草子」を書こう 3時間 (読②書①) ◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)				【知・技】現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) 【思・判・表】・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	→現代語訳や語注を手掛かりに「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード
9	◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)	○	◎	○	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 【態】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。	→作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。 →生活を振り返って、自分ならではの季節感を表すものを見つけている。		→P158「仁和寺にある法師」 →P31「自分流『枕草子』を書こう」
10								

11	情報整理のレッスン 思考の視覚化 1時間 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎			【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【能】学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。	→問題1~3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。	観察 ノート ワークシート	
12	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る 5時間 ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)				【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	→集めた情報を表や図にまとめ、整理している。 →調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考え、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。	観察 ノート ワークシート	→P26「問いを立てながら聞く」 →P37意「多様な情報を集め、考えをまとめるには」 →P271資「インタビューをする」
13	◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア)		◎					
14								
15	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)				【能】粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。			
16								
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
17	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 1時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎			【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【能】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298資「二年生で学習した漢字」 →P313資「二年生で学習した音訓」

2 多様な視点から 【全13時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
18	クマゼミ増加の原因を探る 4時間 ◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ)				【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(C(1)ア)	→文章が六つの部分できていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。	観察 ノート ワークシート	→P51言葉
19	◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)		◎			→筆者の主張を捉え、それと仮説1~3との関係を理解している。		
20	◎文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(C(1)ウ) 【能】積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	→文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。		→P262資「説明的な文章を読むために」
21	★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)							
22	思考のレッスン1 具体と抽象 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎			【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【能】学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。	→問題1, 2に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。	観察 ノート ワークシート	
23	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする 5時間 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)				【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ)	→相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。	観察 ノート ワークシート	→P268資「発想を広げる」
24	◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)		◎			→アピールしたい点が効果的に伝わるように話の構成を工夫している。		→DVD・二次元コード →P26「問いを立てながら聞く」
25	◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ)				・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 【能】粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションしようとしている。	→プレゼンテーションソフトやフリップなどを用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすく伝わるよう工夫している。		→P57意「相手の心を動かす提案をするために」
26	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)							
27	★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)							

28	漢字に親しもう2 1時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	一文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298「二年生で学習した漢字」 →P313「二年生で学習した音訓」
29	文法への扉1 単語をどう分ける? 2時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎	○	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。	→自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	
30							

情報社会を生きる【全3時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
31	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう 3時間(読①書②) ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)				【知・技】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理している。(B(1)ア) 【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	→情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。 →適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気づいている。 →同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えている。 →目的や状況に応じて、どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えている。	観察 ノート ワークシート	→P32「思考の視覚化」 →DVD・二次元コード
32	◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) ◎目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理することができる。(思・判・表B(1)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○				
33	★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、辞典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ) ★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)							

3 言葉と向き合う【全9時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
34	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう 4時間(読②書②) ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)				【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【思・判・表】 ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	→情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生きて伝わる言葉を選んで短歌を創作している。 →複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。 →好きな一首を選び、自分の知識や経験と結び付けて感想を書いている。 →自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。	観察 ノート ワークシート	→P12「続けてみよう」
35	◎観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)							
36	◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	○	◎	○				
37	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)							
38	言葉の力 2時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)	○	◎	○	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ) 【態】進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。	→言葉に対する筆者の考え方を捉え、本や文章には、筆者の考え方が書かれていることや、それに触れることで自分の考えを広げたり深めたりできることを理解している。	観察 ノート ワークシート	

39	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ 【能】進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	一言業に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。		
40	言葉1 類義語・対義語・多義語 2時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)	◎		○	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	→類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	観察 ノート ワークシート	◇P296資「語彙を豊かに」を参考にしてもよい。
41	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)				【能】今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解しようとしている。			
42	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を自ざして 1時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【能】今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。	→抽象的な概念を表す言葉について理解し、類義語の微妙な違いを考えることを通して語感を磨いている。	観察 ノート ワークシート	◇国語辞典や類語辞典を参考にさせるとよい。 →P296資「語彙を豊かに」

読書生活を豊かに【全2時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
43	読書を楽しむ 1時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。	→活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでいきたいかを考えている。	観察 ノート ワークシート	
44	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう 1時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)	○	◎	○	【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ 【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C1)エ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C1)オ 【能】進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	→翻訳の違いによって作品の印象が異なることを知り、他の翻訳作品を楽しもうとしている。 →二人の翻訳者による「星の王子さま」を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて発表している。 →これまでの読書生活を振り返り、豊かにするためにできることを具体的に考えている。	観察 ノート ワークシート	→P274資「形」 →P277資「生物が記録する科学—バイオロギングの可能性」

4 人間のきずな【全16時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
45	盆土産 4時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)				【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	→登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。		→P105言葉
46	◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)	○	◎	○	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C1)イ	→登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。	観察 ノート ワークシート	→P104窓「登場人物の言動の意味を考える」 →P260資「内容の文章を読むために」
47	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)				【能】粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。			
48	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)				【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ	→表現に着目して人柄や心情を読み取り、それを生かして他の随筆を読んでいる。		→P111言葉
49	字のない葉書 3時間 ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)				【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ			

50	◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)	○	◎	○	【思・判・表】「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ) 【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	→前半部分と後半部分の人物や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	観察 ノート ワークシート	→P110窓「表現の効果を考える」 →P260窓「文学的な文章を読むために」
51	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)							
52	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 1時間 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)	○	◎	○	【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ) 【態】粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。	→どのように質問をすると、相手がさらに話したくなるかを考えている。 →話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。	観察 ノート ワークシート	→DVD・二次元コード →P112窓「質問で思いや考えを引き出すには」 →P271窓「インタビューをする」
53	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く 3時間 ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)				【知・技】言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)	→何かをお願いする文面などにおいて、どのような言葉を選ぶと、相手に引き受けられるかを考えている。		→P272窓「いろいろな通信文」
54	◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	○	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	→相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。 →自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。	観察 ノート ワークシート	→P114窓「通信文(手紙・電子メール)を書くときには」
55	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)				【態】積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書くようとしている。			
56	[推敲]表現の効果を考える 1時間 ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)	○	◎	○	【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【思・判・表】「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。	→手紙を推敲し、適切な敬語に書き改めている。 →読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。	観察 ノート ワークシート	
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
	言葉2 敬語 1時間	知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
57	◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。	→敬語を使う生活場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。	観察 ノート ワークシート	◇P119「生活に生かす」を読み、実際の生活場面で敬語を使うときの注意点について考えさせるとよい。
58	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親もう3 1時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【態】学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	→文脈や言葉の意味に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。 →同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	観察 ノート ワークシート	→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298窓「二年生で学習した漢字」 →P313窓「二年生で学習した音訓」
59	1学期期末テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	テスト結果	
60	1学期期末テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	分析レポート	

5 論理を捉えて 【全16時間】								
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
61	モアイは語る——地球の未来 4時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)				【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	一筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。	観察 ノート ワークシート	→P131言葉 →P130窓「論理の展開を吟味する」 →P262資「説明的な文章を読むために」
62	◎文章の構成や論理の展開について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)				【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(1)エ)	一文全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。		
63	◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)	○	◎	○	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)オ)	一自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。		
64	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)				【態】粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。			
65	思考のレッスン2 根拠の吟味 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【態】今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	一問題1, 2に取り組み、根拠を吟味している。	観察 ノート ワークシート	
66	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く 4時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)				【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	一自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。		→P12「続けてみよう」 →P268「発想を広げる」
67	◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj 考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	○	【思・判・表】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj 考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	一根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	観察 ノート ワークシート	→P34「多様な方法で情報を集めよう」 →P132「根拠の吟味」 →P136窓「明確な意見文を書くには」
68	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書くようとしている。			
69	★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)							
70	漢字に親しもう4 1時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	◎		○	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	一文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298窓「二年生で学習した漢字」 →P313窓「二年生で学習した音訓」
71	[討論]異なる立場から考える 1時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) ★それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)	○	◎	○	【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) 【態】進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。	一賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑤の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。 一同じ情報を基にしたし、同じ観点で考えたりしても、立場によって異なる意見になり得ることに気づいている。	観察 ノート ワークシート	
72	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する 4時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)				【知・技】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)	一説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。	観察 ノート ワークシート	→P12「続けてみよう」 →P268「発想を広げる」 →P132「根拠の吟味」
73	◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表A(1)ア)	○	◎	○	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	一地域や社会で話題になっていることの中からテーマを決め、異なる立場の人の考えを予想しながら考えをまとめている。		→P134「根拠の適切さを考えて書こう」 →P139「異なる立場から考える」
74	◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)					一互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。		→DVD・二次元コード →P143窓「異

75	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ)</p>				<p>【態】進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見直しをもって討論しようとしている。</p>		なる立場の人と話し合うときには) →P112「聞き上手になる」
76	<p>音読を楽しもう 月夜の浜辺 1時間</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	◎	○	<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や表現の効果について考えている。(C(1)エ)</p> <p>【態】進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。</p>	<p>→詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。</p> <p>→詩の中の反復表現、対句表現、反語表現に着目し、その効果を考えている。</p>	観察 ノート ワークシート

6 いにしへの心を訪ねる 【全7時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
77	<p>源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 1時間</p> <p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎		○	<p>【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方を知っている。(3)イ)</p> <p>【態】進んで古典に表れたもの見方や考え方を、学習課題に沿って朗読しようとしている。</p>	<p>→漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。</p> <p>→冒頭部分の現代語訳を読んで、「無常観」を感じ取っている。</p>	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード
78	<p>扇の的 ――「平家物語」から 3時間</p> <p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)</p>				<p>【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方を知っている。(3)イ)</p>	<p>→古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。</p> <p>→与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。</p>	観察 ノート ワークシート	→ DVD・二次元コード
79	<p>◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p>	○	◎	○	<p>【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)</p>	→「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。		
80	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p>				<p>【態】進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>			
81	<p>仁和寺にある法師 ――「徒然草」から [書く] 人物の特徴を捉えて論じよう 3時間 (読②書①)</p> <p>◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア)</p> <p>◎現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方をすることができる。(知・技(3)イ)</p>				<p>【知・技】 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)</p> <p>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたもの見方や考え方を知っている。(3)イ)</p>	<p>→古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読している。</p> <p>→現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解している。</p>		→ DVD・二次元コード
82	<p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p>	○	◎	○	<p>【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)</p>	<p>→法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合っている。</p> <p>→文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。</p>	観察 ノート ワークシート	
83	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)</p>				<p>【態】積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見直しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。</p>			

7 価値を語る 【全11時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		

84	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 4 時間 ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)				【知・技】 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	一筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。		→P183言葉	
85	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)				・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)	→二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。			
86	◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)	○	◎	○	【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(C(1)イ)	→二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。	観察 ノート ワークシート	→P182窓「観点を明確にして文章を比較する」 →P262資「説明的な文章を読むために」	
87	◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)				・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ)	→文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。			
	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。				
	★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)								
88	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く 2 時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)				【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)	→作品の魅力伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいる。			
	◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj 考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)	○	◎	○	【思・判・表】 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj 考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	→作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明している。	観察 ノート ワークシート	→P184窓「作品の魅力効果的に伝えるには」	
89	◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)				・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	→友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。			
	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】進んで表現の効果をj 考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書くようとしている。				
	★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)								
90	漢字に親しもう 5 1 時間 ◎第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)		◎	○	【知・技】第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)	→一文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298資「二年生で学習した漢字」 →P313資「二年生で学習した音訓」	
	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。				
91	文法への扉 2 走る。走らない。走ろうよ。 3 時間 ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ)		◎	○	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ)	→用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。	観察 ノート ワークシート		
92	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。				
93	学びの確かめ 1 時間 ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上 75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。			
読書に親しむ【全 1 時間】									
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項	
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)			

94	<p>研究の現場によるこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう 1時間</p> <p>◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(思・判・表C(2)ア)</p> <p>★本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(思・判・表C(2)ウ)</p>	○	◎	○	<p>【知・技】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</p> <p>【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p> <p>【能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。</p>	<p>→教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。</p> <p>→教材文を自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合っている。</p>	<p>観察 ノート ワークシート</p>	<p>→二次元コード</p> <p>→P274資「形」</p> <p>→P277資「生物が記録する科学ーバイオリロギングの可能性」</p>
----	--	---	---	---	--	---	------------------------------	---

8 表現を見つめる 【全30時間】

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	能	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
95	<p>走れメロス 【書く】作品の魅力をもとめ、語り合おう6時間(読⑤書①)</p> <p>◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p>				<p>【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p>	<p>→作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。</p>		→P213言葉
96	◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)				<p>【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)</p>	→「メロス」や「王」の言動に着目して、人物の考え方や心情の変化を読み取っている。		→P212窓「人物像に着目する」 →P260資「文学的な文章を読むために」
97	◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)	○	◎	○	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)</p>	→「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。		→P182窓「観点を明確にして文章を比較する」
98	◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたり描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)				<p>・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたり描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p>	→登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力や文章にまとめられている。		
99	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				<p>【能】粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまとめようとしている。</p>			
100	★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ) ★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)							
101	<p>漢字に親しもう6 1時間</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	◎		○	<p>【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p> <p>【能】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>	→文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。		→P254「小学校六年生で学習した漢字一覧」 →P298資「二年生で学習した漢字」 →P313資「二年生で学習した音訓」
102	<p>文法への扉3 一字違いで大違い 2時間</p> <p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(知・技(1)オ)</p>	◎		○	<p>【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。(1)オ)</p>	→助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。		
103	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				<p>【能】今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。</p>			
104	<p>構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 4時間</p> <p>◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)オ)</p>				<p>【知・技】話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ)</p>	→これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。		→P12「続けてみよう」 →P73「短歌を作ろう」
105	◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)	○	◎	○	<p>【思・判・表】「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ)</p>	→起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理している。		→P218窓「構成を工夫して物語を書くには」 →P116「表現の効果を考える」
106	◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)				<p>・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)</p>	→書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。		
107	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)				<p>【能】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p>			
	★短歌や俳句、物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(思・判・表B(2)ウ)							

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
108	言葉3 話し言葉と書き言葉 2時間 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。 (知・技(1)イ)	◎		○	【知・技】話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 (1)イ) 【態】今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	→話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。	観察 ノート ワークシート	→P182窓「観点を明確にして文章を比較する」
109	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)							
110	漢字3 送り仮名 2時間 ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 (知・技(1)ウ)	◎		○	【知・技】第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。	→送り仮名に注意して、漢字を読んだり書いたりしている。	観察 ノート ワークシート	
111	▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度)							
112	2学期期末テスト ・形成テストの実施	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	テスト結果	
113	2学期期末テスト ・形成テストの解答と解説	◎	◎		【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、50%以上75%である。	【知・技】【思・判・表】各観点の正答率が、75%以上である。	分析レポート	
114	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る 5時間 (話聞②書③) ◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 (知・技(1)オ)	○	◎	○	【知・技】 ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)オ) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ) 【態】粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。	→結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。 →壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。 →壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。	観察 ノート ワークシート	→P34「多様な方法で情報を集めよう」 →P112「聞き上手になろう」 →P140「立場を尊重して話し合おう」 →P116「表現の効果を考える」 →P226窓「考えたことをわかりやすく伝えるには」
115	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 (知・技(2)イ)							
116	◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ)							
117	◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 (思・判・表B(1)イ)							
118	◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度) ★それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(思・判・表A(2)イ) ★多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(思・判・表B(2)ア)							
119	標準学力テストに向けて 2時間							
120	基礎的な語句 文法の復習 読む問題対策 書く問題対策 過去3年間の問題活用							
時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度)★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足 (B)	十分満足 (A)		
121	木 2時間 ◎抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (知・技(1)エ)	○	◎	○	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すと同時に、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んでも理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ) 【態】進んで詩を読んでも理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。	→「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。 →自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について考えている。		
122	◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) ▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 (主体的に学習に取り組む態度) ★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)							

123	<p>学習を振り返ろう 3時間(読①話聞①書①)</p> <p>◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p> <p>◎歌語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表C(1)ア)</p>				<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) 歌語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) 	<p>→相手の心が動くように、卒業生に贈る言葉を選び、その理由を考えている。</p> <p>→歌語の働きを理解し、電子メールの下書きを推敲している。</p> <p>→根拠を明確にして、卒業生に贈る言葉について書いている。</p>		<p>→P14「アイズプラネット」</p>
124	<p>◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ)</p> <p>◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p>	○	◎	○	<p>「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C(1)エ)</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ)</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)</p> <p>「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)</p> <p>「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B(1)エ)</p>	<p>→教科書の「アイズプラネット」と長編版「アイズプラネット」とを比較して読み、物語の設定の違いを捉えている。</p> <p>→教科書の「アイズプラネット」と長編版「アイズプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるかを考えている。</p> <p>→卒業生に贈る言葉を考え、出典や理由を明らかにして、話の構成を工夫している。</p> <p>→「卒業生に贈る言葉」についての大川さんの提案を論理の展開に注意して聞き、話し手の伝えたいことを捉えている。</p> <p>→一気持ちや要件が的確に伝わるように電子メールを書いている。</p>	観察 ノート ワークシート	<p>→DVD・二次元コード</p> <p>→P26「問いを立てながら聞く」</p> <p>→P54「魅力的な提案をしよう」</p> <p>→P114「表現を工夫して書こう」</p> <p>→P116「表現の効果を考える」</p> <p>→P117「敬語」</p> <p>→P272資「いろいろな通信文」</p>
125	<p>▼言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>★詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする。(思・判・表C(2)イ)</p> <p>★説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(思・判・表A(2)ア)</p> <p>★社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(思・判・表B(2)イ)</p>				<p>【進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。】</p>	<p>→読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲している。</p>		

令和6年度(2024年度) 国語科年間指導計画 2学年 書写年間指導計画 2学年(20時間)

時数	教材名 配当時間 ◎指導目標(知・技)(思・判・表) ▼(主体的に学習に取り組む態度) ★言語活動	単元の評価規準			評価規準・判断基準		評価方法	留意点 備考 配慮事項
		知・技	思・判・表	態	概ね満足(B)	十分満足(A)		
1	書写で学ぶこと p.2-3 ◎書写学習の目的を理解することができる。 書写の学習の進め方 p.4 ◎学習の進め方の要点を理解することができる。	○						4月
2	点画の省略(桜色) p.50-51 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆 ◎点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書くことができる。	○			【知・技】 ○行書の点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書いている。	一行書の基本的な4つの動きを理解し点画の形や方向の変化に気をつけて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	4月～5月
3								
4								
5	筆順の変化(若緑) p.52-53 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆 ◎筆順の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書くことができる。	○			【知・技】 ○行書の筆順の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。	一行書の基本的な4つの動きを理解し点画の連続と筆順の変化に気をつけて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	5月～6月
6	行書のまとめ② p.54-55 (3)ウ(ア) 【用具】鉛筆 ◎行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書くことができる。	○			○行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書いている。			
7	行書と仮名の調和(豊かな自然) p.56-57 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆 ◎行書と平仮名を調和させるときに気をつけることを理解して書くことができる。	○			【知・技】 ○行書と平仮名の調和のさせ方を理解して書いている。	一行書に調和する平仮名や片仮名を筆使いに気をつけながら整えて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	6月～7月
8								
9	行書に調和する仮名(五十音表) p.58-60 (3)ウ(ア) 【用具】毛筆・鉛筆 ◎行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。	○			【知・技】 ○行書に調和する仮名の特徴を理解して書いている。	一行書に調和する平仮名や片仮名を筆使いに気をつけながら整えて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	9月
10	[文字のいずみ] 文字と絵 p.61 (3)ウ(ア)・(イ) ◎文字と絵の関係について知り、文字文化への関心を高めることができる。	○						
11	文字の大きさと配列(草山に馬放ちけり秋の空) p.62-63 (3)ウ(ア) 【用具】小筆(筆ペン)・鉛筆 ◎行書で配列を整えて書くにはどうすればよいか理解して書くことができる。	○			【知・技】 ○行書の配列を整える方法を理解して書いている。	一配列を整え、行書と平仮名を調和させて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	10月
12								
13	[生活に広げよう] 本のポップを書く p.64-65 (3)ウ(イ) 【用具】筆ペン・ペン ◎内容を効果的に伝える配列を考えて書くことができる。		○	○	【思・判・表】 ○ポップを書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。 【態】 ○既習事項を生かして、進んで、内容が効果的に伝わるポップを書くようとしている。	→適切な筆記具を選び、用紙に合わせて、適切な配列で書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	11月

14	楷書と行書の使い分け p. 66-67 (3) ウ (イ) 【用具】 ペン・鉛筆 ◎どのような観点で楷書と行書を使い分けるか理解することができる。	○		【知・技】 ○楷書と行書を使い分ける観点について理解している。	一目的や場面に応じて楷書と行書を使い分けている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	11月
15	場面や目的に応じた書き方 p. 68-69 (3) ウ (イ) 【用具】 毛筆・ペンなど ◎場面や目的に応じた適切な書き方を理解して書くことができる。	○		【知・技】 ○場面や目的に応じた書き方を理解して書いている。	一用紙全体から配列を考えて、楷書と行書の違いを意識しながら整えて書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	12月
16	行書のまとめ③ p. 70-71 (3) ウ (イ) 【用具】 鉛筆・ペン ◎行書に調和する仮名の書き方と配列を理解して書くことができる。	○		○行書に調和する仮名の書き方と配列を理解して書いている。			
17	【文字のいづみ】 書き初めをしよう 〈感謝する心〉 〈信念を貫く〉 〈最善を尽くす〉 〈平和の祈り〉 p. 74, 101-104 (3) ウ (ア) ・ (イ) 【用具】 毛筆 ◎書きたい言葉と書体を考え、これまでに学習してきた「書写のかぎ」を生かして、書き初めを書くことができる。	○		【知・技】 ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。	一書き初めの意義を理解し、毛筆書写の学習の成果を生かし、書き初めを書いている。	観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	12月
18	【生活に広げよう】 防災訓練に参加しよう p. 75-77 (3) ウ (ア) ・ (イ) 【用具】 鉛筆・ペン・毛筆 ◎書写で身につけた力を生活のさまざまな場面で生かすことができる。			【思・判・表】 ○場面や目的に応じて既習事項をどのように生かすか考えている。	一これまでの学習を生かして、メモ帳やポスターなどを目的や用途に応じた用具・用材を選び書いている。		
19	【文字のいづみ】 書いて味わおう 「平家物語」 p. 78 (3) ウ (ア) ・ (イ) 【用具】 鉛筆	○	○	【態】 ○既習事項を生かして、進んで、目的や場面に合った文字を書こうとしている。		観察 毛筆作品 硬筆ノート 升目用紙 ワークシート	1月～3月
20	◎古典文学を書いて味わい、文字文化への関心を高めることができる。						